加西市総合運動公園基本構想（案）（ゾーニング）

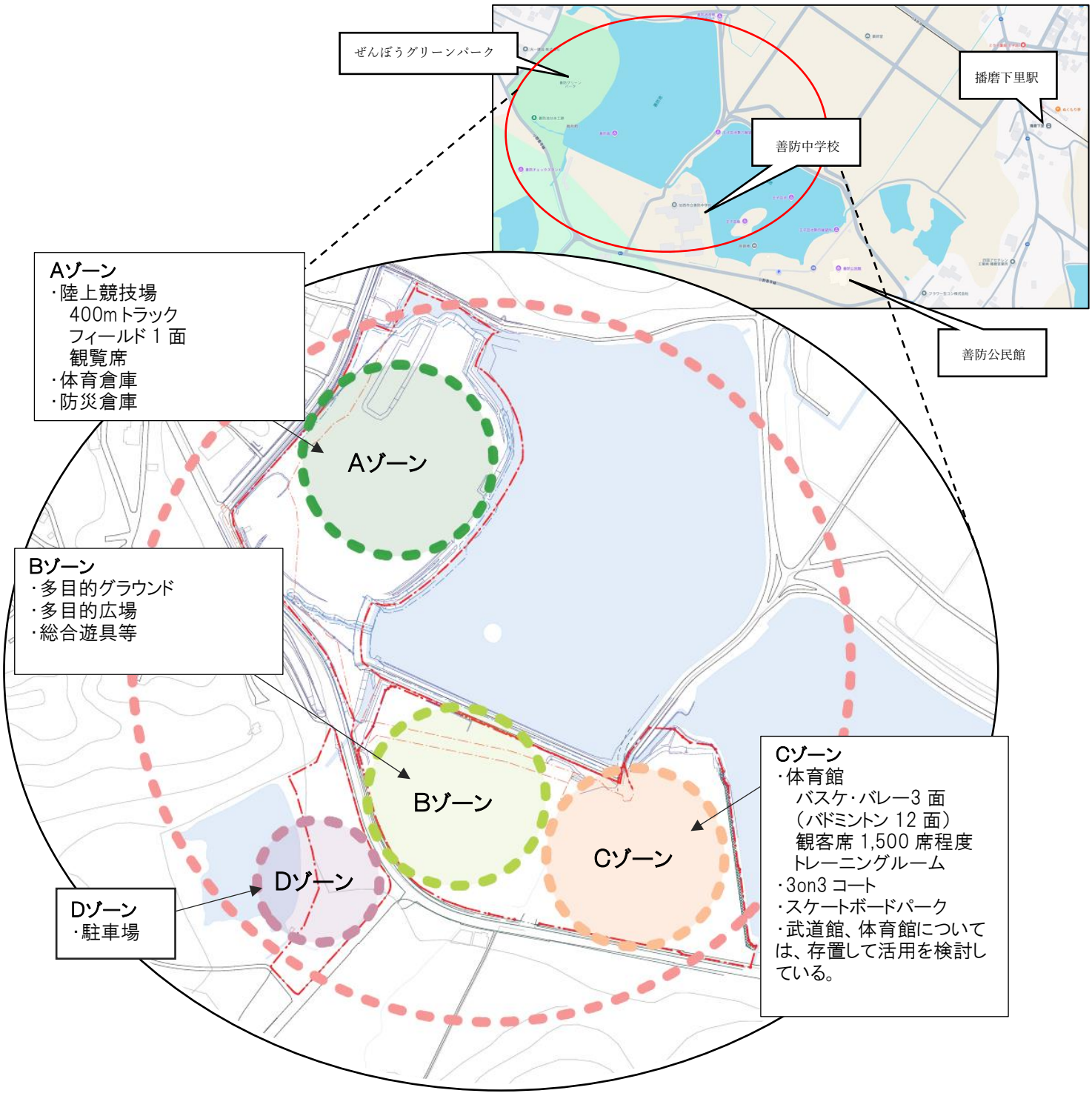
資料４

■基本構想策定にあたって

【国の動向】

H27 年にスポーツ庁が創設され、スポーツに関する施策を総合的に推進する体制が整備された。スポーツ庁では、スポーツを、誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、楽しめるものであると考え、「する・みる・ささえる」を通じて老若男女、障害の有無に関わらず、すべての国民が心身ともに元気になれる社会を目指している。

【これまでの経過】

加西市では、第５次総合計画策定時に、市民に「スポーツを楽しむ機会」へのニーズが高まっていることから「スポーツを楽しむ機会の拡充」を謳い、スポーツ施策を展開してきた。そうした中、第６次総合計画において、更にニーズを具体化させ「総合体育館整備」を目標に掲げるとともに、第２次スポーツ推進計画において市民アンケートを実施し、総合体育館に求められる機能を探った。加えてかねてよりぜんぼうグリーンパークを陸上競技場として整備する計画があり、体育団体からの早期整備を求める要望書も提出されている。そのため、総合体育館と陸上競技場を合わせた総合運動公園として整備を進めることが望ましいと考えられる。

また、整備にあたっては、体育館と陸上競技場の一体整備とすることや、運動公園に盛り込む機能など、総合運動公園が市民ニーズを踏まえたものとなるように、スポーツ推進審議会において議論している。